

# 2023年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会

## 1、事業の成果

昨年12月より職員2名を欠いた中、学童スタッフ、スキースタッフの皆さんから助けられ、在職の事務局員で日々の業務やスキー教室、新年度へ向けての準備などを乗り切ることができた。それが人件費削減にもつながったこと、10月より教室・クラブの会費改定を行ったこと、また、昨年を上回るコパルの収益増などにより、昨年よりはマイナスの額を回復することができた。

### ●スポーツクラブ事業

リトルスポーツクラブは会員増とはならなかったが、その特長である多様なスポーツ体験や野外活動を行うことができた。フェンシングクラブは会員が伸び悩んでいるものの、熱心な指導のもと地道に活動を続けている。トレッキングクラブは後半、天候不順による中止が続いたことが悔やまれる。バドミントンクラブ、フットサルクラブは共に定員となっている。テニスクラブでは冬期の5ヶ月間だけ活動する冬季テニス会員が増えた。

### ●スポーツ教室事業

小学生の体育教室は昨年同様学童クラブからの参加が多く、運動能力向上のためさまざまなメニューに取り組んだ。サッカー教室も同様に技術向上のためにさまざまな運動を取り入れながら指導をし、送迎可能な平日の教室が人気だった。幼児の教室では、コパル開催の教室は定員に近い参加者となったが、アプルス開催の教室は伸び悩んだ。大人の教室では、事務局が抜けたクラスは外部講師の協力により開催を維持できている。12月の気温、積雪のなさ、指導者不足のため、小学生・幼児のスキー教室は開催回数を4回に減らして開催した。

### ●スポーツ支援事業

昨年に引き続き学童クラブ、幼稚園保育園へ年間を通したスポーツ支援活動を行った。学校からも昨年同様、器械運動や学年行事の指導依頼を受けた。介護予防事業は現在定員となっており、会員は開催日を楽しみに健康維持に努めている。

### ●こどもクラブ

南沼原小の預かりを令和8年度末までとしたため新規募集をすることなく、今年度の入所者も2名となったが、南小、附属小、みはらしの丘小からの入所者で会員数は昨年度同様となった。コロナ前のようなプール遊びや川遊び、宿泊を伴う行事も開催することができた。一人の児童は団体行動ができず安全に預かることができないと判断し、保護者と話し合いのうえ今年度をもって退所していただいた。

### ●その他の事業

2年目となるコパルの委託事業では、自主事業・付帯事業の成果が上がり、昨年度と比べ、大幅に収益を上げることができた。レンタルスペースでは、今年度も常連の団体が利用を継続しており、職員をやりくりして貸出に対応できるよう努め成果が得られた。

## 2、事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支払額(千円)
スポーツクラブ	子どものスポーツクラブ	金、土、日曜日	クラブハウス他山形市内外	延べ300名	小中学生33名	10,068
	大人のスポーツクラブ	年間	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ450名	大人200名	
スポーツ教室	子どものスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ430名	幼児20名 小学生205名	17,969
	大人のスポーツ教室	月曜日～土曜日	クラブハウス、アプルスプラス他	延べ500名	大人100名	
	子どものスキー教室	12月～3月の土曜、休日	蔵王スキー場	延べ240名	幼児30名、小中学生120名	
スポーツ支援	指導者派遣	年間	山形県	延べ30名	市内小学校他	4,040
	イベントの開催	年間	コパル	延べ40名	一般	
	介護予防運動	年間	クラブハウス	延べ192名	要支援、事業対象者	
こどもクラブ	学童	月曜日～土曜日	クラブハウス他山形市内	10名	小学生55名	6,469
その他	コパル運営委託事業、レンタル事業	年間	クラブハウス、プラス、コパル他	13名	幼児、児童、大人	24,268
管理費	運営他	年間	クラブハウス、アプルスプラス他	6名		21,145